

具体的な取組み	目標	計画期間(平成30年度から令和2年度)における取組み・達成状況
(1)余暇活動や社会参加に取り組む ①余暇活動の充実と活動内容の拡大		
<p>○日中一時支援事業の充実(地域生活支援課)</p> <p>障がい者等の日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図るため、既存の施設を効率的・効果的に活用し、積極的に事業実施できるよう、市町村とともに取り組みます。</p>		<p>○府内42市町村が、それぞれの登録事業所において、障がい者等の見守り、社会に適應するための日常的な訓練等に活動の場を提供しました。(府内全ての市町村に登録事業所有)</p> <p>【日中一時支援事業の延べ利用者数】</p> <p>平成30年度 84,733名 令和元年度 104,393名(伸び率 23.2%) 令和2年度 88,579名(伸び率 △15.1%)</p>
<p>○保育所・放課後児童クラブの運営の充実(子育て支援課)</p> <p>保育所や放課後児童クラブにおいて障がい児の受入れがより進むよう市町村の取組みを支援します。放課後児童クラブについては、補助制度を活用し、支援学校小学部児童を含む障がい児の利用を促進します。</p>		<p>○地域における保育所や放課後児童クラブにおいて、障がい児の受入れを促進することにより、子どもの健全な成長を促進し、地域の障がい児の子育て環境機能の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における障がい児の受入れ (平成30年度:3,043人 令和元年度:2,849人 令和2年度:2,803人) ・放課後児童クラブにおける障がい児の受入れ (平成30年度:3,715人、令和元年度:3,793人、令和2年度:3,791人) ・放課後児童クラブを利用した支援学校小学部の児童数 (平成30年度:100人、令和元年度:70人、令和2年度:73人) <p>○放課後児童クラブについて、専門的知識等を有する職員を配置し、障がい児対応への体制整備を図る市町村に対して、補助を行いました。</p>
<p>○長期休業期間等の活動の充実と施設開放の推進(地域教育振興課、支援教育課、地域生活支援課)</p> <p>支援学校において、児童生徒の豊かな人間性を育むため、夏季休業をはじめとする長期休業期間等における課外活動の充実に努めます。</p> <p>また、夏季休業をはじめとする長期休業期間等における取組みを地域やボランティアの支援を得ながら進めます。</p> <p>さらに、放課後等デイサービスや日中一時支援事業、移動支援事業等の活用を図れるよう市町村とともに取り組みます。</p>		<p>○各校の取組み状況を把握し、長期休業期間等における学校内外の施設を活用した諸活動の充実に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日や長期休業期間中の活動に取り組んだ学校:全府立支援学校 <p>○支援学校で開放している施設や取組み状況等を把握し、地域に開かれた学校運営を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規定に基づき、利用者からの希望を受け施設開放(運動場や教室、体育館等を開放)を可能としている学校:全府立支援学校 ・「大阪府立高等学校等の体育施設の開放に伴う教育財産の管理に関する規程」及び「大阪府立特別支援学校の学校開放に係る教育財産の管理に関する規程」により、運動場等の学校施設の開放を可能としている学校:全府立支援学校 <p>○日中一時支援事業及び移動支援事業等の実施にあたっては、事業の利用を希望する者の心身の状況や、利用についての意向等を十分に把握した上で、支給の決定を行うよう通知等を通じて市町村に働きかけました。</p> <p>○放課後等デイサービスについて、障がい児が身近な地域でニーズに応じた療育を受けることができるよう、事業所の確保を行うとともに、利用希望者の状況や意向等を十分に把握したうえで支給決定がされるよう市町村に働きかけを行いました。</p>
<p>○大阪府ITステーションを拠点とした取組み(自立支援課)</p> <p>市町村等が実施する初級クラスまでの基礎的なIT講習会について、必要に応じて、大阪府が養成したITサポーターを派遣し、市町村での開催を支援します。さらに、移動が困難で、かつ最新の支援機器を利用することにより、意思疎通が可能となる重度の障がい児者に対して、ITサポーターを派遣し、IT機器利用を促進することにより、意思疎通と就労準備性の向上を支援します。</p>		<p>○大阪府ITステーション就労促進事業を実施しました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ITサポーター養成研修修了者数 障がい者のデジタルデバイドの解消のための支援をサポートする、ITサポーターの養成研修を実施しました。 平成30年度:26人、令和元年度:25人、令和2年度:20人 ■IT講習会実施市町村数 府内市町村において基礎的なIT講習会が開催される際に、市町村からサポーター派遣の要請があった場合、町村と連携のもと、ITサポーターを派遣しました。 平成30年度:19市町村、令和元年度:18市町村、令和2年度:18市町村 ■重度障がい者に対するIT支援機器利用等の支援 移動が困難でかつ最新の支援機器を利用することにより意思疎通が可能となる重度障がい者に対して、IT支援機器利用等の相談や体験、支援機器などの検証や調整とITサポーターの派遣等を行い、重度障がい者の意思疎通と就労準備性の向上へのIT支援を行い、障がい者のデジタルデバイドを解消するための支援を実施しました。 平成30年度:11件、令和元年度:10件、令和2年度:12件

(1)余暇活動や社会参加に取り組む ②障がいのある人とない人の交流、主体的な社会参加			
<p>○スポーツ・レクリエーション、芸術・文化活動の促進（自立支援課） 障がい者理解の促進を図る観点から、以下の取組みを進めます。 ・国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)と連携した幅広い障がい者の文化芸術活動の支援、大阪府障がい者スポーツ大会の開催・全国障がい者スポーツ大会への選手団の派遣等 ・障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成や派遣のほか、府立支援学校や、市町村、障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体や地域の障がい福祉サービス事業所等との連携等 ・府立障がい者交流促進センター・府立稲スポーツセンターの運営等 ・企業やトップアスリート等と連携した障がい者スポーツの普及啓発のほか、より多くの府民が障がい者スポーツを「ささえる」仕組みづくり ・府内のスポーツ施設において障がい者の利用が進むよう設置者の理解を深める広報・啓発</p>		<p>○障がい者理解の促進を図る観点から、以下の取組みを進めました(個別の実施状況は、「(2)スポーツ活動に取り組む」及び「同(3)芸術・文化活動に取り組む」に記載)。 ・国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)と連携した幅広い障がい者の文化芸術活動の支援、大阪府障がい者スポーツ大会の開催・全国障がい者スポーツ大会への選手団の派遣等 ・障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成や派遣のほか、府立支援学校や、市町村、障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体や地域の障がい福祉サービス事業所等との連携等 ・府立障がい者交流促進センター・府立稲スポーツセンターの運営等 ・企業やトップアスリート等と連携した障がい者スポーツの普及啓発のほか、より多くの府民が障がい者スポーツを「ささえる」仕組みづくり ・府内のスポーツ施設において障がい者の利用が進むよう設置者の理解を深める広報・啓発</p>	○
(1)余暇活動や社会参加に取り組む ③ボランティア活動を活性化させる			
<p>○ボランティア活動の振興(男女参画・府民協働課) ボランティア活動に、多くの府民の参加や支援が得られる環境を整えるため、ボランティア情報の提供やボランティアコーディネーターの養成等を支援し、府民だれもが気軽にボランティア活動に参加できる条件づくりを進めます。 大阪府社会福祉協議会が設置する大阪府ボランティア・市民活動センターが実施する事業への支援やボランティア情報の提供を通じて、ボランティア活動を行う府民の増加を図ります。</p>		<p>○府内や市町村のボランティアの養成計画や協働事業等について把握し、府ホームページにおいて幅広く情報提供を行いました。 ○また、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会が設置する大阪府ボランティア・市民活動センター運営委員会やボランティアファンド運営委員会に参画し、市町村社協への支援のあり方や地域の支えあいネットワークづくり等について意見交換を行うことで、ボランティアを支援する関係機関との体制整備を図ることができました。</p>	○
<p>○福祉農園等の活用とボランティア、ボランティアリーダーの支援(農政室推進課) 障がい者施設の花壇作りや、畑づくりを支援するため、農産園芸福祉に取り組む障がい者施設等の関係者の相談・要請に対応し、技術的なアドバイス・支援及びボランティアリーダー、ボランティアに対する技術的アドバイスをを行います。 また、障がい者施設での花苗づくりを支援し、園内花壇植栽用の花苗として使用するなど施設と連携した花づくり活動を進めます。</p>	<p>目標値 花壇づくりなどの講習会の実施 年3回程度</p>	<p>○(地独)環境農林水産総合研究所において、以下の3点について、継続的に対応。 ・福祉農園を活用し、ボランティアによる地域就労支援センター利用者の体験受け入れ、障がい者施設利用者、支援学校生徒の活動・学習支援を行いました(通年)。 ・農産園芸福祉に取り組む障がい者施設等の関係者の相談・要請に対応し、技術的なアドバイス・支援を行いました。また、活動を支えるボランティアリーダー、ボランティアに対する技術的アドバイスをしました(随時)。 ・福祉農園を活用し、ボランティアと施設利用者との協働による花壇づくり体験を、毎年3回(5月2回、6月1回)実施しました(令和2年度についてはコロナ感染予防のため中止)。また、支援学校教員及び生徒に対し、花苗の栽培指導を行いました(年5～10回実施、令和2年度はコロナ対応のため6回)。</p>	○
(2)スポーツ活動に取り組む			
<p>○大阪府立障がい者交流促進センターの運営(自立支援課) 大阪府における障がい者スポーツ(特に競技スポーツ)の広域的中核拠点として、府立支援学校や、障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体や地域の障がい福祉サービス事業所等との連携・支援のほか、広域的な大会の開催・支援など、競技性の向上に資するプログラムを実施します。</p>		<p>○大阪府における障がい者スポーツ(特に競技スポーツ)の広域的中核拠点として、府立支援学校や、障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体や地域の障がい福祉サービス事業所等との連携・支援のほか、広域的な大会の開催・支援など、競技性の向上に資するプログラムを実施しました。 年間利用者数 平成30年度 190,523人 令和元年度 192,438人 令和2年度 100,047人</p>	○
<p>○大阪府立稲スポーツセンターの運営等(自立支援課) 障がい者の社会参加の促進を図るため、障がい者のスポーツ及び文化・レクリエーション活動を支援します。加えて、府立施設として求められる施設機能のあり方等を検討し、平成31年度末までに結論を得ます。</p>		<p>○障がい者の社会参加の促進を図るため、障がい者のスポーツ及び文化・レクリエーション活動を支援しました。 年間利用者数 平成30年度 34,376人 令和元年度 31,966人 令和2年度 20,547人 ○加えて、府立施設として求められる施設機能のあり方等を検討し、利用環境の継続性を確保すること、広域的拠点性を確保すること等の結論を得ました。</p>	○
<p>○障がい者スポーツ指導者の養成事業等(自立支援課) 障がい者スポーツの支援や振興を図るため、中級障がい者スポーツ指導員などの人材を養成し、府立支援学校や障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体などへ派遣します。また、障がい者が地域でスポーツ活動により多く取り組めるよう、身近な地域における活動機会や場所の情報提供の充実に努めます。</p>	<p>目標値(平成32年度) 中級障がい者スポーツ指導員登録者数:300人</p>	<p>○中級障がい者スポーツ指導員などの人材を養成し、府立支援学校や障がい者スポーツに関わるさまざまなスポーツ団体などへ派遣しました。また、身近な地域における活動機会として、大会や練習会等の案内を行い、場所の情報提供の充実に努めました。 登録者数:平成30年度 308名 令和元年度 310名 令和2年度 316人 養成者数:平成30年度 15名 令和元年度 31名 令和2年度 コロナの影響により養成講座中止</p>	○

第4次大阪府障がい者計画（後期計画） 具体的な取組み・達成状況

生活場面V「楽しむ」

<p>○大阪府障がい者スポーツ大会の開催・全国障がい者スポーツ大会への選手団の派遣等（自立支援課） 障がい者スポーツの競技性や障がい者一人ひとりの競技力の向上と裾野拡大を図るため、競技スポーツの祭典である大阪府障がい者スポーツ大会を開催するほか、大阪府障がい者スポーツ大会の成績優秀者等について、強化練習等の支援を行うとともに、全国障がい者スポーツ大会に大阪府選手団として派遣します。 また、上記大会以外の各種競技会との連携や参加者支援等を行います。</p>	<p>目標値(平成32年度) 大阪府障がい者スポーツ大会参加者 1,000人以上</p>	<p>○大阪府障がい者スポーツ大会の開催 ・大阪府障がい者スポーツ大会参加者数 平成30年度 889人 令和元年度 975人 令和2年度 837人(コロナの影響で中止したため、参加申込者数) ・強化練習会参加者数 平成30年度 1,522人 令和元年度 1,685人 令和2年度 682人 ・全国障害者スポーツ大会への選手団派遣 平成30年度 100人 令和元年度は台風19号の影響で大会中止 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大会中止</p>	<p>○</p>
<p>○スポーツに親しむ機会の提供（自立支援課） 大阪府障がい者スポーツ大会など障がい者スポーツのPRを大阪府障がい者スポーツ応援団長を活用して行うほか、これら大会等の観戦やパラリンピアン等のトップ障がい者アスリートの招聘等、スポーツに親しむ機会の提供に努めます。</p>		<p>○大阪府障がい者スポーツ大会など障がい者スポーツのPRを大阪府障がい者スポーツ応援団長を活用して行ったほか、これら大会等の観戦やパラリンピアン等のトップ障がい者アスリートの招聘等、スポーツに親しむ機会の提供に努めました。</p>	<p>○</p>
<p>(3)芸術・文化活動に取り組む</p>			
<p>○芸術・文化活動への支援と自己実現機会の提供（自立支援課） 国の障がい者文化芸術の拠点施設である国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)と連携し、舞台芸術で活躍する障がい者の育成等を行うほか、障がい者の創造性豊かな絵画等の作品について、「現代アートとしての評価」や「市場へのチャレンジ」につなげる等、幅広く障がい者の文化芸術活動を支援します。</p>		<p>○国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)等と連携し、大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジの開催など舞台芸術で活躍する障がい者の育成等を行ったほか、about meへの参加やART OSAKAへの出展など障がい者の創造性豊かな絵画等の作品について、「現代アートとしての評価」や「市場へのチャレンジ」につなげる等、幅広く障がい者の文化芸術活動を支援しました。 【平成30年度実績】 大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ 参加者 808名 about me 参加者 1,138名 ART OSAKA(出展) 来場者数 2,700名 など 【令和元年度実績】 大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ 参加者 601名 about me 参加者 665名 ART OSAKA(出展) 来場者数 3,060名 など 【令和2年度実績】 大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ 参加者 571名 about me 参加者 710名 ART OSAKA WALL(出展) 来場者数 540名 など</p>	<p>○</p>